

奥出雲町チームが初優勝 しおかせ駅伝で快走



▲奥出雲町チームの皆さん

12月10日、第26回浜田-益田間駅伝競走大会(しおかせ駅伝)が開催され、奥出雲町チームが悲願の初優勝を飾りました。

師走の石見路を舞台としたコースは、益田陸上競技場から浜田市のしまねお魚センター前までの9区間、全長41.295kmの設定。県内の中学生から一般の男女で編成された40チームが参加し、世代を超えてチームのたすきをつなぎました。

奥出雲町チームは、3位で1区のたすきをつなぐと2区で先頭に立ち、そのまま6区まで先頭を引っ張りました。7区で順位を落としたものの、8区で再び首位に躍進し、9区の快走により2位と1分2秒差をつ

けゴールしました。今大会では、2区の田部智暉選手、9区の田部幹也選手が区間賞を獲得し、最優秀選手賞に田部幹也選手、敢闘賞に1区に加藤小雪選手が選ばれました。

12月14日に役場仁多庁舎で優勝報告会が行われ、藤原幹男監督は「今回のチームは地元の選手、ふるさと選手が集まりオール奥出雲として臨むことができた。悲願の優勝を獲得することができ、また町村の励みになると言われた。連覇に向け努力したい」と優勝の喜びを語りました。

奥出雲町チーム(敬称略)

監督	藤原幹男
コーチ	田部勇二、景山雄二
第1区	加藤小雪(仁多中3年)
第2区	田部智暉(仁多中3年)
第3区	朝倉祐樹(一般)
第4区	田部雄作(城西大1年)
第5区	若槻翔馬(仁多中3年)
第6区	加藤美咲(仁多中3年)
第7区	笹野忠則(一般)
第8区	原一智(島根大2年)
第9区	田部幹也(桜美林大3年)

田部幹也選手 力走! 一第94回東京箱根間往復大学駅伝競走一

1月2日、3日に開催された第94回箱根駅伝に奥出雲町三沢出身で桜美林大学3年生の田部幹也選手が関東学生連合チームとして出場しました。第3区で出場し、桜美林大学初の箱根ランナーとなり21.4kmを力走しました。

大会後、帰省された際に役場仁多庁舎を訪問し勝田町長に大会の報告がありました。「ずっと1人で走っていたのできつかったけど楽しめた」と初めての箱根を振り返り、「この経験を活かし来年は大学単独で出場したい」と最後の年へ向けての抱負を語られました。



▲報告に訪れた田部選手(左)

ホストタウンに登録 東京五輪キャンプ誘致に向けて前進

昨年12月、内閣府が推進する2020年東京オリンピック・パラリンピックに参加する海外選手と地域住民が交流する「ホストタウン」に奥出雲町が登録されました。

町技であるホッケーを活かし、同じくホッケー競技の盛んなインドとの交流を通じて、同競技の普及振興や地域振興を目指し、特産品の仁多米を通じた食文化交流や雲州算盤とインド数学による教育交流を行うことを予定しています。

県内では松江市、邑南町に続き3件目の登録となり、これにより来年度以降インドホッケーチームとの交流事業などで各省庁から財政支援や人材派遣を受けることができます。キャンプ誘致の実現へ向け今後も積極的に取り組んでいきます。



▲誘致予定国のインドの国旗

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えになりましたことと存じます。先ずもって心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、松浦士登副町長、安部隆教育長の退任により、4月に奥原徹副町長を、5月には塔村俊介教育長を迎え新たな町執行部体制となりました。お二人にはこれまで培われた識見やネットワークを活用し、各施策においてその手腕を発揮されています。本年も奥出雲町の振興、発展に向け、一緒に力を合わせていく所存です。

が悲願の優勝を果たしました。旧仁多町、旧横田町から参加してきただけで初めて頂点に立つことができたのも若い力の躍進があったからです。ホッケー競技におきましても町内の選手らが日頃の練習成果を十分に発揮し、全国の舞台で数々の入賞を果たしました。特に国民体育大会では、横田高校男子ホッケー部が優勝、横田高校女子ホッケー部が準優勝、島根県成年男子チームが第3位の成績をおさめ、島根県の総合成績に大きく貢献しました。



また、8月には奥出雲町まち・ひと・しごとセンターを開所しました。センターでは、UIターン者等の移住定住支援、空き家バンク制度を活用した住まいの支援、無料職業相談所の機能を強化した仕事の斡旋、多様な人材の育成に係る相談・支援を総合的に進めています。センターを通じて、この地で暮らし続け、暮らしてみたいくなる

魅力ある町を目指していきます。さて、平成29年度の一般会計予算は、12月補正予算後で153億4842万円を計上することになりました。生活基盤整備、雇用対策、定住対策、子育て支援など、当面する諸課題に対応するとともに、健全で持続可能な財政運営に努め、町の振興と発展、町民生活向上に尽力いたします。また、町外の皆様からのご厚意による平成29年ふるさと納税の寄附額が2億円を超え、寄附件数も前年より増えました。感謝申し上げますとともに、皆様からの期待や応援にこたえられるよう有効に活用させていただきます。本年も様々な事業を計画しており、今年の8月には全日本中学生ホッケー選手権大会が本町で開催されることなどが決定しております。本年も町政各般にわたり、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成30年 元旦
奥出雲町長 勝田 康則